

一般印刷物仕様書

消防局予防部予防課
(担当 木村・吉田 電話 212-6695)

1	件名	文化財防火啓発用リーフレットの調製
2	数量	1枚もの(ポスター等) <u>2,000</u> 枚 (□片面印刷 <input checked="" type="checkbox"/> 両面印刷) ページ物(冊子等) _____部 (本文_____頁 表紙_____頁) セット物(帳票等) _____冊・セット (_____枚 _____組× _____冊・セット)
3	寸法	<input checked="" type="checkbox"/> A <u>4</u> 判 □B _____判 □その他(縦_____cm×横_____cm)
4	刷色	1枚もの(表面等) □黒1色□ 色 <input checked="" type="checkbox"/> 4色□特色 色 備考() (裏面等) □黒1色□ 色 <input checked="" type="checkbox"/> 4色□特色 色 備考() ページ物(本文等) □黒1色□ 色□4色□特色 色 備考() (表紙等) □黒1色□ 色□4色□特色 色 備考()
5	原稿	<input checked="" type="checkbox"/> 完成版下渡し (データ等で提供の場合、契約日以降提供;作成使用機種 <u>Adobeillustraitaor</u>) □原稿紙渡し <input checked="" type="checkbox"/> 見本通りの訂正作業要 □ルビ有り □グラデーション有り □その他()
6	資料提供	写真(カラー_____点・白黒_____点) イラスト_____点 図表_____点 その他()
7	紙質	再生紙(使用の有無を問わない) 本文等:上質紙_____kg アート紙_____kg <u>コート紙</u> <u>90</u> kg その他() 表紙:上質紙_____kg アート紙_____kg コート紙_____kg その他() 特殊紙(<u>不使用</u> ・ 使用 →詳細_____)
8	製本	<input checked="" type="checkbox"/> 折り(二つ折・ <u>三つ折</u> ・観音折・その他_____) □綴じ(中とじ・平とじ・無線とじ・糸かがり・上製本・その他_____) □天のり □横のり □穴あけ_____穴 □その他()
9	校正	<input checked="" type="checkbox"/> 文字校正 <u>1</u> 回 <input checked="" type="checkbox"/> 色校正 <u>1</u> 回 (<u>簡易校正</u> ・本紙校正・本機校正) その他()
10	その他指示事項	契約決定後、請負業者は当局担当者と打ち合わせを行うこと。
11	履行期限	<u>令和7年6月25日(水)</u>
12	履行場所	消防局予防部予防課

(参加業者の方へ) 仕様について不明な点がある場合は、担当者にお問合せください。

(参考) グリーン購入基準が「適」の場合は、「京都市役所グリーン調達推進方針」及び国の「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」の特定調達物品判断基準を満たすことが必要です。

- ・印刷用紙:総合評価値 80 以上
- ・フォーム用紙:古紙パルプ配合率 70%以上かつ白色度 70%程度以下
塗工量(両面) 12g/m²以下(塗工紙)
- ・事務用封筒:古紙パルプ配合率 40%以上

●火遊びによる火災を防ぐために

子供たちの火遊びが原因で火災になり、大切な文化財が焼失してしまっただことがあります。

- 花火をする時は、大人と一緒に水バケツを用意しましょう。
- マッチやライターなどを、子供の手の届くところに置かないようにしましょう。



みんなで文化財を火災から守る取組

文化財を火災から守るためには、文化財の関係者、地域住民の皆さん、消防機関などが連携し、協力し合うことが大切です。

●文化財市民レスキュー体制

文化財の関係者と地域住民の皆さんが協力して、平常時は、防災施設の点検や取扱訓練を行います。火災時には、初期消火、通報、文化財の搬出などの活動を行います。

——— トライアングルのパートナーシップ ———



●文化財防災マイスター

日頃、文化財社寺等を訪れる機会が多いバスガイド、タクシードライバー、観光ガイド等の皆さんに、消防訓練や防火研修会等に参加してもらい、万一の災害時は、「文化財防災マイスター」として、初期消火や応急手当等の協力をお願いしています。



●文化財セーフティカード等を活用した搬出活動

文化財社寺等で万一火災が発生した場合、仏像や絵画等の美術工芸品を迅速、効率よく搬出するため、事前に保管場所や搬出方法などをまとめた「文化財セーフティカード」(左)と、搬出する仏像等ごとに、名称、保管場所、搬出に必要な要員数などをまとめた「文化財タグ」(右)があります。



これらを文化財関係者と消防隊がお互いに保持し、情報共有を行って火災時に備えています。

防火・防災のお問合せ、御相談は
最寄りの消防署、分署まで

消防署、分署			
北消防署	491-4148	下京消防署	361-4411
上京消防署	431-1371	南消防署	681-0711
左京消防署	723-0119	右京消防署	871-0119
中京消防署	841-6333	西京消防署	392-6071
東山消防署	541-0191	伏見消防署	641-5355
山科消防署	592-9755	醍醐消防分署	571-0474

文化庁 京都へ
 <京都市消防局ホームページ>
 京都消防 文化財防火 検索

070009

発行/京都市消防局予防部予防課 京都市印刷物第0600T1号

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ!

火の用心

みんなで文化財を
火災からまもろう

Save Our Cultural Properties

表紙カラー変更
緑色→水色



京都市消防局

KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT



文化財と京都の防火

京都市内には、世界文化遺産をはじめ、国宝、重要文化財、重要伝統的建造物群保存地区等の貴重な文化財が数多くあります。長い歴史において、幾度となく戦火や火災、災害の中、先人たちの、そして今を生きる人たちの不断の努力により、守り、受け継がれてきたものです。京都の文化財は日本の誇りとなっています。



木と紙でできている文化財は、火災により瞬間に価値を失うことがあり、防火の取組が何より重要です。文化財を令和の時代から、その先の未来へ引き継ぐため、みんなで文化財を火災から守りましょう。

京都市内の文化財

京都市内には、全国の国宝の約 19%、重要文化財の約 14% があり、まさしく京都は文化財の宝庫です。

区分		全国	京都市	比率
有 形 文 化 財	国 宝	231 ²	43	18.6% ⁵
	美術工芸品	912 ⁰	173	19.4%
重要文化財	建 造 物	2,574 ⁸⁸	220 ²	8.6%
	美術工芸品	10,872 ⁹¹⁰	1,688 ⁹³	15.5%
重要伝統的建造物群保存地区		127 ⁹	4	3.1%

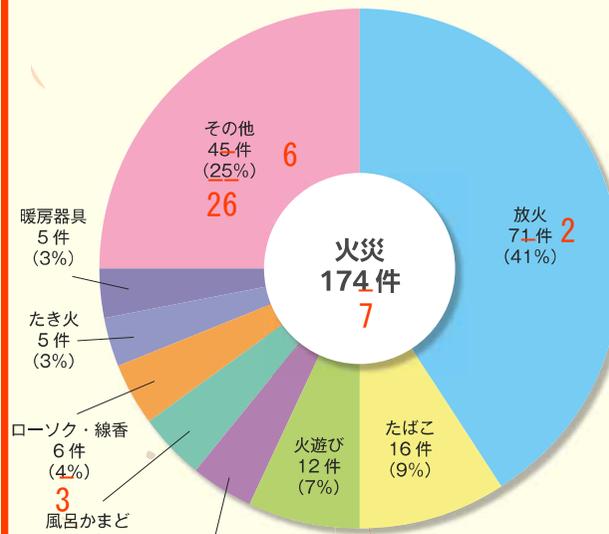
※ 重要文化財の件数には国宝を含みます。 (令和6年4月1日現在)

京都市の文化財社寺等の火災発生状況

火災原因を見ると、「放火(疑い含む)」が最も多く、「たばこ」、「火遊び」と続きます。

近年は、文化財社寺等の居住部分からの火災も発生しています。

特定文化財対象物の敷地内で発生した火災(原因別)



(昭和23年3月から令和6年3月31日まで)

文化財防火対策

● 放火による火災を防ぐために

文化財社寺等の多くは、広大な敷地を有し、誰もが入り出ることから、防火管理の目を行き届かせることは難しく放火による火災も多く発生しています。

そこで・・・

- 建物の周りなどに、燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- 門扉や物置にはしっかりと鍵を掛け、不審者の侵入を防ぎましょう。
- 夜間は屋外の照明を点灯するなど、周囲を明るくしましょう。
- 防犯カメラやセンサーライトなどを設置しましょう。
- 放火火災を防ぐための地域活動に積極的に参加しましょう。



● たばこによる火災を防ぐために

喫煙者のちょっとした不注意や不始末が原因で、文化財が火災になったことがあります。

- たばこを吸う場合は、指定された喫煙場所で吸いましょう。
- たばこのポイ捨てをせずに灰皿に捨てましょう。霧吹きを用いた消火も有効です。
- 灰皿の吸い殻は、水に浸して確実に消してからゴミ袋に捨てましょう。

